

日本食肉加工情報

毎月1回発行

2

2023 FEB.

No.872

CONTENTS

●特集 1

(カナダ)豚肉及び豚肉加工品の生産・需給動向について

●特集 2

丸大食品株式会社のサステナビリティの取り組みについて

●窓

第87回 JA全農ミートフーズ㈱ 代表取締役社長 中村 哲也 氏
「根なし草 それもまたよし」

●業界をめぐる動き

- ・1月役員会の開催について
- ・新規加入者紹介
- ・4団体合同新年賀詞交歓会の開催について
- ・関係省庁からの情報提供などについて(会員組合員宛配信情報)
- ・食肉料研(KAKEN)コラム #90

●ひろば

第85回 株式会社マルシンフーズ

●海外情報

EU 豚肉供給量の減少は続き、豚肉価格は高値を維持



内容をちょっと読み



SPECIAL
EDITION

特集 1

(カナダ) 豚肉及び豚肉加工品の生産・需給動向について

野村 昇司 カナダポーク日本事務所 日本マーケティングディレクター

カナダの豚肉生産は2021年～2022年にかけて小幅の減少となったが概ね横ばいの傾向を示した。最も顕著に輸出量が増加したのは2020年で前年比22%増を記録した。しかしながら2015年～2020年にかけて豚肉生産のための屠畜数量もピークとなり、コロナ蔓延やロシアによるウクライナ侵攻の影響で世界的に経済状況が一変したことを受けて、2021年には2年続いた輸出数量の増加も減少へと推移した。2022年1月～11月のカナダポークの全輸出量は1,282,343トンとなり前年2021年の同期間対比で2.74%の減少となった。

カナダに限ったことではないが、あらゆる資材費、運搬費用、労働者の賃金などがウクライナ問題勃発が引き金となって高騰し、これらによってカナダの豚生産者、豚肉加工業者の著しい経費増となり、北米全体の豚価は異常な値上がりを見せた。それに加え、世界的な冷蔵、冷凍輸送コンテナの不足や太平洋航路その他の SHIPPING スケジュールの乱れ、さらに円安は輸入ポークの買入れ価格に非常に大きな悪影響を与えた。その結果として2022年1月～12月のカナダ産チルドポーク…

続きは定期購読で!

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp